

若者の自殺対策を推進するための ネットワークの構築事業

東京都多摩立川保健所市町村連携課

事業実施の背景

若者の自殺の現状

小中高生の自殺者数の増加

圏域での自殺者の20歳未満の割合が高い傾向

地域の動き

医療

圏域内救急救命センター精神科医師
若者の自殺未遂の増加→連携の相談

多摩立川
保健所

教育

定時制・通信制高校
こころの健康教育の依頼

地域の医療・教育・行政・福祉の関係機関がそれぞれで取組を実施

多摩立川保健所・圏域6市
自殺総合対策担当者連絡会

行政

立川市子ども・若者自立支援
ネットワーク

福祉

社会福祉協議会・NPO
若者の居場所作り

etc...

生きづらさを抱えた若者に対応し、若者の自殺対策を推進していくためにも、
地域の関係機関がネットワークを構築し、連携して支援を行っていくことが必要！



令和6・7年度の2年計画で「若者の自殺対策を推進するためのネットワーク構築事業」を実施

事業目標について

【めざすところ】

圏域内の若者が安心して自分らしく暮らすために、地域ネットワークで支援していく

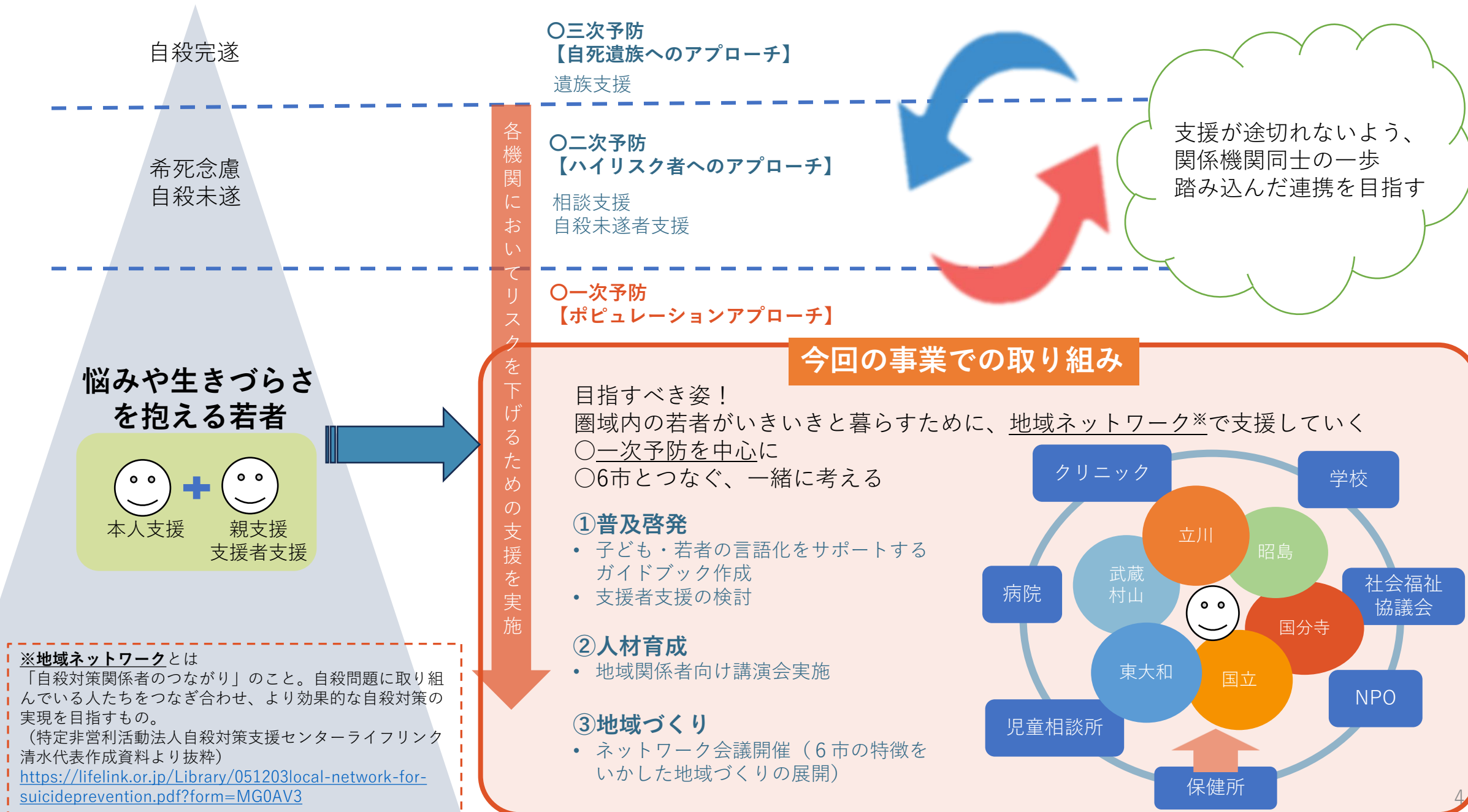
全体目標

自殺対策に関わる地域関係者の連携の強化と相談ネットワークを構築し、生きづらさを抱えた若者に対しての包括支援を推進する。

令和6年度 目標

1. 若者の自殺を取り巻く現状と地域課題を明確化する。
2. 圏域内における関係機関等の連携・協力のあり方を明確化する。
3. 若者が前向きに生きることを選択できるような支援方法を構築する。

多摩立川保健所における若者の自殺対策を推進するためのネットワーク構築事業イメージ図



令和 6 年度事業実施内容

1 地域関係者へのヒアリング

- 若者の自殺を取り巻く現状と地域課題の抽出のため、若者の支援機関にヒアリングを実施（医療 2 ・ 教育 3 ・ 児相 1 ・ 社協 6 ・ NPO 1、計 13 機関）

2 若者の自殺対策推進ネットワーク会議の設置・開催

- 圏域 6 市、医療機関、定時制・通信制高校教員、児童相談所、社会福祉協議会、NPO 団体を構成員とする「若者の自殺対策推進ネットワーク会議」を設置・開催

3 地域関係者向けの自殺対策講演会の実施

- 定時制・通信制高校教員等支援関係者を対象とした講演会を実施

4 若者に有効な情報発信について検討

- 育て上げネットに協力を依頼し、定時制・通信制高校の高校生に、若者に有効な情報発信についてインタビューを実施。
- 子ども・若者の言語化をサポートするガイドブックの案を作成し、都立砂川高校 1 年生を対象としたアンケート調査を実施。

昨年度の会議から見た課題と対応策について

会議から見た課題

◆連携に関すること

支援者が一步踏み込んだ
対応をとるためには
どうしたらいいか

◆生徒に関すること

生徒に相談してもらう
ためにはどうしたらいいか

対応策

◆支援機関の連携事例の共有

- ・ 連携のポイント等を抽出・整理
- ・ 支援者支援の検討

◆地域関係者向け講演会の実施

- ・ 圏域内での支援力及び連携に対する意識の向上を図る

◆子ども・若者の言語化をサポートするガイドブックの作成

- ・ 若者の援助希求を促進する

令和7年度 若者の自殺対策推進 ネットワーク会議

【事業内容】

- ・ 抽出された課題や対応策への検討
- ・ 各機関での一步踏み込んだ対応について、事例を通じた検討

令和7年度事業実施内容

令和7年度
目標

1. 若者の自殺対策を推進するための地域ネットワークの強化を図る。
2. 子ども・若者の言語化をサポートするガイドブックを作成し若者の援助希求を促進する。
3. 圏域内での支援力及び連携に対する意識の向上を図る。

1 若者の自殺対策推進ネットワーク会議を継続実施

- 2の講演会や、3のガイドブックについて検討
- 事例を共有し、支援者支援について検討

2 地域関係者向けの講演会の実施

- 医療・教育・行政・福祉等の地域関係者を対象とした講演会を実施

3 若者に有効な情報発信について検討

- 子ども・若者の言語化をサポートするガイドブックを作成（年度内に圏域内の高校等へ配布予定）

4 その他

- 圏域6市の自殺総合対策担当者連絡会を実施（市の事例をもとに、事例検討を実施）